

セキュリティ対策に乗り遅れないために

産業制御機器のIoT化と巧妙化するサイバー攻撃の脅威に備えるべく、早急なセキュリティ対策が求められています。2027年にはサイバーレジリエンス法の全面施行が予定されている等、サイバーセキュリティを義務とする法制化の動きも世界全体に広がりを見せています。ウェビナでは、サイバーセキュリティ対策のカギとなるIEC 62443から、法規制の対象とされる製品やソフトウェア・IC選び・脆弱性管理から構築すべきシステム要件まで、様々な情報とノウハウを厳選し、2Days・4セッションに渡って開催しました。

最終セッション4ではRenesas 32bit RXマイコンで実現するセキュリティと題して、IoTセキュリティで重要視すべきポイントを解説しました。

エンドポイントセキュリティ

IoTの普及により様々な脅威が存在する中、機器の末端デバイスであるマイコンへのリスクも当然の事ながら発生します。エンドポイントセキュリティとは、IoTエンドポイントがセキュアであれば、信頼性の低いネットワーク環境でも自分自身で守ることが出来るという考え方です。ルネサスのRXマイコンに搭載しているハードウェアセキュリティ機能と様々なセキュリティ対策を組み合わせることでエンドポイントセキュリティは実現できます。

RXマイコンのハードウェアセキュリティ機能

マイコンのセキュリティとは、ハードウェア機構によりセキュアな領域を確保し、秘密情報をその領域内でのみ処理することです。セキュアな領域は、暗号鍵を使用してのみ利用出来るようになっていて、鍵の管理が重要となります。そのため、いかにして鍵を守るのか？セキュリティを強固にするために3つのアイテムがあります。

<セキュリティを強固にするためのアイテム>

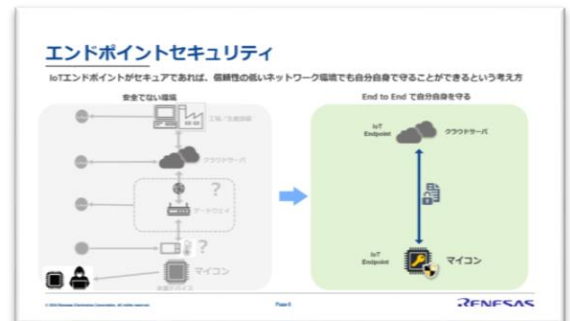
- ・暗号鍵の保護
- ・Root of Trust
- ・ライフサイクル管理

これらのアイテムに加えて、RXマイコンのハードウェアセキュリティ機能を用いた実現方法についても解説しました。

RXマイコンに搭載されているTSIPはルネサス独自の技術ですが、CAVPとCMVP Level3という国際標準規格の認証を取得しており、対外的にも信頼性の高いセキュリティ機能であることが証明できています。ルネサスではRXマイコンでセキュリティを実現していくための評価キットや無償のドライバソフト等のソリューションを準備しており、ユーザは手軽にセキュリティ機能の検討を始めることが出来ます。

■ 本日の登壇者 ■

ルネサスエレクトロニクス株式会社
エンベデッドプロセッシング
アプリケーションエンジニア統括部
APAC アプリケーションエンジニアリング部
山内 和豊 氏



エンドポイントセキュリティ

RXセキュリティソリューション

[他の記事、ウェビナはこちらから](#)



エンジニアによりそうマガジンサイト